

### 毎日を笑顔で暮す年の功

亀の甲より年の功。さまざまな表情は笑顔で上書きされるのです。

### 鶴と亀所詮異なる生い育ち

鶴は千年、亀は万年と呼ばれるが、実際に並べて比較できるものなのだろうか。鶴の万年も亀の千年もどちらもそれぞれの一生に過ぎない。人は八十年。それと同じである。

### 友愛が空しく響く基地の空

「友愛」と「基地」の対比がいい。その先を考えさせるテーマでもあり、表現の上手さであろう。

### 恋愛ヘー夫一婦のバリケード

夫唱婦随ではなく一夫一婦という表現が面白い。「の」「が」の比較で変わる印象の変化について検証してみたい。

### 靖国のおいを犬に訊きたい日

「犬」という表現に尽きる。「靖国」というさまざまな意見のあるテーマには、それぞれの立場に「犬」がいるのである。

### どこをどう来たか飲兵衛家に居る

確かにそうで、不思議だと思ふときがある。伝書鳩のような帰巣本能を人も持っているのだろうか。

### 色褪せた手土産だけで豪華旅

国際法上も国内法上もテロリストである金賢姫元死刑囚の来日に掛かった公費の額は、その法的根拠とあいまって多く川柳として詠まれている。

### アナログの表示と未だ根くらべ

いよいよ一年を切った地デジだが、報道されている数字より大幅に買い替えは進んでいないようだ。苦肉の策なのか、ケーブルテレビ契約限定という条件で2015年3月までアナログテレビの使用が可能となった。

### あの世からのお呼びに慌て身づくり

下五が意外性を生んでいるが、難解さでもある。慌てて身づくりを刷るのでは、何か忘れ物と和してしまいそうだ。

### 未だ未だ未だドキドキしたい未だ傘寿

80歳が「傘寿」表現の視覚的面白さの作品。あまり聞かない歳の呼び方に次のようなものもある。66歳「緑寿」、81歳「半寿」「盤寿」、108歳「茶寿」、111歳「川寿」「皇寿」

### 浮動票しこたまとった柔道家

谷議員の事。「しこたまとった」という中七。大相撲関連のテーマでも面白いと思う。

### サラサラと生きて血痕見当たらぬ

「血痕」を「血栓」や「血塊」「血海」など別の熟語と比較してみたい。

### いまもなほ軍手の呼び名庭いじり

軍手の呼び名は、江戸時代末期に鉄砲の整備をするときに錆を発生させないために使われた手袋が元だという。現代ではそういったことに使用されることはほとんどなく、作業用手袋として生活に根付いている。「庭いじり」は作者の過程での呼び方だろうが、謂れを知ると面白い。「いまもなお軍手庭いじりと呼ばれ」という作り方も。

### 下車駅でピタリ目覚める技を持つ

これは完全な睡眠ではなく、呼び名は失念したが、医学的に何とか覚醒と説明がつくものらしい。

### しがらみをかなぐり棄てて脱皮する

脱皮というより羽化というほうがしっくりくる。しかし、もっと大きな意味での変身とも取れて面白い作品。

### スイッチに頼り脆くなる筋

昔から考えると、相当に便利になっている。極端な話、水道の蛇口さえも手で回さなくてもいい時代。「スイッチ」と「リモコン」を比較してみたい。

### 金魚売り金魚がこぼれそうに来る

イメージは天秤棒の金魚売り。昭和30年代が金魚売の最盛期といわれている。全国で千人はいた金魚売りも今では九州にお一人だとか。

### タレントのおばかテストに腹かかえ

バカを売り物にするとは全くテレビ芸だと思う。一人では成り立たないバラエティーである。ボケと突っ込みというけれど、画面の前で突っ込む視聴者がいて成り立っている。

### 痛快だ歩が王手をかけるなんて

確かに痛快。「成らないでいると詰むのに成りたがり」というへボ将棋の句もある。

### ソーラーはステータスだという噂

省エネな温暖化対策だと、ソーラーエネルギーが喧伝されているが、実際には相当なお金持ちでなければ、元を取って且つ経済的に利益を得る事は難しいようだ。

### 立つ位置を変えて自分を探す旅

かつて自分探しというのは、ある程度経験を積み、世の中が見えてきたときにふと感じることのはずだった。最近は高校生の頃から自分探しなど言う子が増えた。立つ位置も決まっていないうちが何をやっているのだろうと思う。

### 旅先の太陽に会うサングラス

サングラスの黒い肌に、太陽の反射が見えるようでいい表現だと思う。読みとしては、ここに読者自身、作者自身をどう読み取ってゆくか。

## **プリズムの中で私が虹になる**

例えば、水面に反射する光。その中に自分も含まれているという一瞬の思い。

## **ふるさとのそうめん流し水自慢**

「水自慢」が上五を際立たせるが、中七を「流しそうめん」とすると、体言の重なりが違和感を感じさせる。

## **先入観持てば歪んで見えてくる**

悪役商会の人たちは本当に悪人顔をしている。彼らがおどろおどろしいBGMと共に登場すると、もう犯人にしか見えなくなってしまう。

## **良い風だ分けてあげたいあなたにも**

「風」をそのまま読むか、「運」や「勢い」というイメージで読むかによって解釈が変わる。「風」という言葉は異化しやすい言葉である。作品を参考に異化の効果について検証してみたい。

## **百年を生きて疑われています**

不思議な事もある。幼児は虐待死させられ、老人は年金を運ぶ死体として生かされている。

## **小さきものそれでもユニオン旗上げる**

ユニオン旗は、イギリスの旗、連合の旗、市民団体の旗など、幾つかのイメージをもたらす。小さきものとあるから、市民的なニュアンスだろう。

## **監視カメラ協会の方カメラ向け**

大相撲の対暴力団対策。確かに客席より協会の面々を監視していたほうがいいのかもわからない。

## **無菌室愛がゆっくり立ち枯れる**

この無菌室は、時代、世の中の喩で、子供たちの成長、大人たちの変化、そういったものを表している。

